

袖平山縦走

期 日：5月1日(火)～5月2日(水) 快晴～曇

コース：

5月1日

西野々(セブンイレブン) 10:40→昼食休憩(12:00～12:25)→焼山 13:10
～13:40→平丸分岐 14:10→黍殻山分岐 14:17→大平分岐 14:33→黍殻山
避難小屋 14:40→黍殻山 15:20→水場 15:50→黍殻避難小屋(泊) 16:00

5月2日

黍殻避難小屋 6:05→青根分岐 6:08→八丁坂ノ頭 6:30→東海自然遊歩道最高
地点 6:50→姫次 6:55→袖平山 7:25→風巻ノ頭 8:50→神ノ川 10:20→犬越
路 12:05→昼食後出発 12:45→用木沢出合 14:00→西丹沢ビジターセンタ
ー14:25

参加者：TA、SF、MS、TH



平日バスダイヤで西野々バ
ス停に 10:19 着

セブンイレブンで買い出し
後、出発



山ビル対策で、山ビルファ
イター(忌避薬)を塗って
乾かしたストッキングを切
ったものを登山靴の足首に
装着。これで山ビルは上に
上がれない(実践済み)

ただし、今回の山行で山ビ
ルはまだ現れなかった



焼山への登りは樹林帯の中の整備された道（東海自然歩道）

ここは、カラマツ林



焼山の山頂に近づくと白樺林が出現



焼山山頂



焼山山頂の展望台より、宮ケ瀬湖方面を見る

左奥の宮ケ瀬湖の向こうは
仏果山



黍殻避難小屋到着

本日の宿



黍殻山山頂

(来る時は巻道を使い、小屋から空身で戻って登る)

柵の中には天気予報用の大きな雨量計施設がある



黍殻山下の水場
水量も十分ある
水場までの道は良好

沢水ではなく土中から引いたパイプから水が湧いているが、念のため煮沸して使用した
味は問題ない



黍殻避難小屋に戻り、夕食の準備中
とてもきれいな小屋で、10人以上は余裕で泊まれるだろう
外にトイレもあり、和式だが雨水で水洗
本日は我々4名の他に単独の山行者1名が宿泊
朝方、少し冷え込んだが最低気温 10℃位で寒くはなかった



翌朝、元気に小屋を出発



姫次への尾根道では標高が1300m 級と高いせいか、ミツバツツジが未だ咲いていた



姫次

向こうに見えるのは蛭ヶ岳

ここから、袖平山方面へ向かう



姫次から富士山を見る

本日は曇天だが、何とか富士山までの展望がある



袖平山山頂
標高 1431.9m

丹沢主脈から外れているためこれまで来ることが無かったが、展望が良くお勧めである



袖平山山頂から富士山を正面に見る

左の山は檜洞丸、右の山は大室山



袖平山から神ノ川へ、約900mの標高差を持つ急登で有名な風巻尾根を下る

途中、南向き斜面ではもうシロヤシオが咲いていた



神ノ川到着

ここから神ノ川ヒュッテ脇を通り、犬越路へ向けて標高差約500mを登る



犬越路への道は、初めは林道で緩傾斜で歩きやすかったが、最後はすごい急登で息も絶え絶えに



犬越路は四方向への交差点

風が出てきたので、犬越路避難小屋に入ってゆっくり昼食

部屋の隣にトイレがついているので利用者が多い



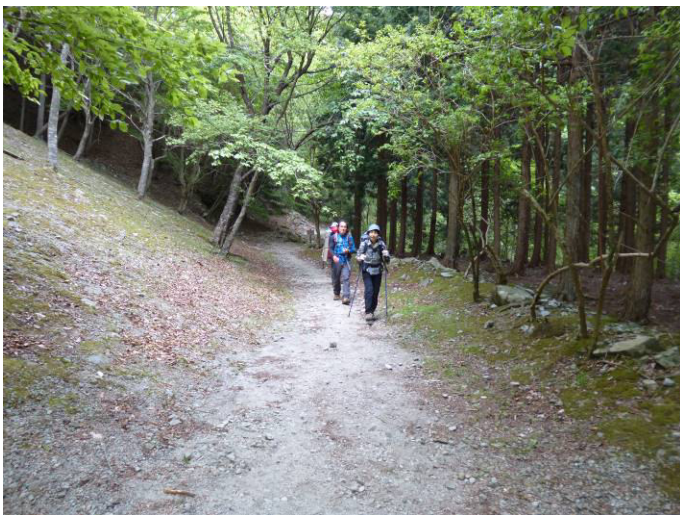
用木沢出合への下り道

結構な急傾斜で、末脚にこたえる

南西向き斜面で暖かいせいなのか、もうヤマツツジが咲き始めていた



沢の下流部では木橋が多い



用木沢出合に到着

長く険しい縦走、お疲れさまでした！

以上